

勝山高校生の声 (Voice) をお届けします！ 平成25年度 第2号

勝高 Voice

平成25年 10月 9日発行
発行者 岡山県立勝山高等学校
TEL (0867) 44-2628
FAX (0867) 44-4730
HP www.katuyama.okayama-c.ed.jp

「勝高 Voice (かつこう ヴォイス)」は、勝山高校生の生の声をご紹介します広報誌です。
第2号では勝山高校の二大イベント、修学旅行と鼓山祭について紹介します。

6月 修学旅行

勝山高校の修学旅行は、2年生の6月に実施されます。行先は、国内コース（東京）と海外コース（シンガポール）の2コース！！修学旅行でも多くの体験を通して、社会的視野を広げます！



生徒の感想を少しだけ紹介します。●東京ディズニーシーはまさに夢の国で、時間が過ぎるのも忘れて楽しみました！●東京ディズニーランドでは雨上がりに水で描かれたDonaldを見ることができました！●横浜中華街で栗をおまけしてもらいました●ジブリ美術館ではたくさんの原画の展示に感動！日替わりで見られる短編映画も必見です●科学技術館では自転車で発電したり、普段はできないことができました●東京ジャーミーではイスラム教のモスクを見学しました。幾何学模様のデザインなど、東京にこんなところがあるなんて、感動しました●帝国劇場で鑑賞したミュージカル「レ・ミゼラブル」は生演奏ならではの迫力で最後は思わず涙がこぼれました●最終日に訪れた東京タワーからは、東京を一望でき、岡山に帰るのが名残惜しくなりました●サイエンス・スクエアつくばでは、多くの情報端末や体験コーナーで最先端の研究開発のプロセスや考え方に触れました●ナイトクルーズでは豪華客船の中でのディナー。雨が降っていたけど海からのレインボーブリッジの眺めは最高でした。

ここがすごい！

グローバル人材の育成

社会全体の国際化に伴い、現代社会では国際感覚やコミュニケーション能力を身に付けたグローバルな人材が求められるようになりました。勝山高校では春休みにオーストラリアでの約2週間の海外短期研修や海外への修学旅行を実施し、グローバル人材の育成に力を入れています。



空港を一步出たら、そこは熱帯の国。陽気なガイドさんと最初に訪れたのは、マライオン公園。観光客の他にも、学校帰りらしき大学生。初めての土地に、手に持ったお茶にまで興味津々。ちなみにシンガポールのお茶は砂糖入り！！翌日は現地の大学生の案内で街中を観光。もちろん会話は英語で行います。すぐに打ち解け、仲良しになりました。3日目は隣国マレーシアへ！今度は高校生と交流。見たことのない大歓迎を受け、「だるまさんが転んだ」で大盛り上がり！伝統的な染物も教わりました。夜はナイトサファリで動物ともふれあい、様々な文化に触れた修学旅行となりました。(H24年度感想より)

こざんさい 9月 鼓山祭 (学校祭)



勝山高校最大のイベントと言えば鼓山祭です。今年は大雨の影響で1日順延となりましたが、9月6日(金)7日(土)に文化の部が、9日(月)に体育の部が行われました。鼓山祭では赤・青・黄の3つの団に分かれ、舞台パフォーマンス、劇、展示、競技、応援、パネルの各部門で競い合います。

鼓山祭の目玉は応援合戦です。団席から響く太鼓の音、応援の声に合わせてグラウンドいっぱいに広がってダンスを繰り広げます。力が入った歌声、懸命に歌う表情、流れる汗、どれもずっと忘れない思い出です。



H25 年度団長を務めた3人の2年生に、鼓山祭について語ってもらいましょう。

「鼓山祭とは何か」と聞かれて、出てきた言葉は「青春」。一瞬だった鼓山祭の思い出は一生忘れないと思います。鼓山祭の魅力は、勉強以外で一生懸命になれ、己の個性を爆発させることができるということです。来年は、新しく入学してくる後輩たちのその輝く瞳を楽しみにしています。

普通科 池田 洸太 (美甘中出身)

今年の鼓山祭で見事、僕たち青団が優勝することができたのは、もちろん僕だけの力ではなく、1年生から3年生まで、青団全員の団結力がどの団よりも強かったからだと思います。

次の世代を担うのは君たちだ！ぜひ勝山高校に来て鼓山祭を盛り上げてみないか！！

ビジ 祢科 小椋 有人 (湯原中出身)

鼓山祭は私を大きく成長させてくれました。人を導く力が向上しました。長い期間を使い、みんなで協力して作り上げたものをやりとげた後の達成感は、今までにないものでした。時には愚痴をこぼし、時には笑い合いながら練習した日々や、鼓山祭の3日間は心に深く刻まれました。

普通科 磯田 幸佑 (勝山中出身)

来年も9月に開催します。文化の部、体育の部ともに一般公開していますので、ぜひ勝山高校へ足をお運びください。